

児童室だより No. 57(2006.10発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>「おとうとは青がすき アフリカの色のお話」</p> <p>イフェオマ・オニェフル作・写真 偕成社 2006.6 【小低～】</p>	<p>ンネカとチディは仲良し姉弟。弟のチディは青が大好き。姉さんのンネカはそんなチディにいるんな色を教えることにする。赤は大おじさんのぼうしの色。みどりはやしの葉っぱの色。チディはどんな色が好きになるかな？色をとおしてアフリカの自然、文化、生活に親む写真絵本。</p> <p>(J382-オニ-8941139)</p>
<p>「牡丹さんの不思議な毎日」</p> <p>柏葉幸子作 ささめやゆき絵 あかね書房 2006.5 【小中～】</p>	<p>牡丹さんは娘の堇と夫とともに、温泉街の元ホテルに引越して来た。使わない部屋は倉庫代わりに人に貸そうと思っていたのだけど……。なんと、このホテルにはおばあさんの幽霊ゆきやなぎさんが住み着いていた。でも、牡丹さんは平気。幽霊と家事を手伝ってもらう約束をししまう。牡丹さん一家や幽霊その他ユニークな登場人物が繰り広げる不思議で人情味あふれたお話。</p> <p>(J913-カシ-8914347)</p>
<p>「動物と向きあって生きる 旭山動物園獣医・坂東元」</p> <p>坂東元著 あべ弘土絵 角川学芸出版 2006.7 【小高～】</p>	<p>旭山動物園には「野生動物と家畜・ペット種は違う」という明確なポリシーがある。話題になった「行動展示」には動物が本来持っている能力や動きをありのままに見てほしい、命の営みを見てほしいという思いがある。獣医である著者が、今までの体験や自分の動物に対する思いを踏まえて旭山動物園の主張を伝える一冊。</p> <p>(J480-ハン-8979163)</p>
<p>「れいぞうこのなつやすみ」</p> <p>村上しいこさく 長谷川義史え PHP研究所 2006.6 【小中～】</p>	<p>けんいちの家のれいぞうこ、こわれてしまったと思ったら、目鼻、口がついてしゃべりだした。「なつやすみをもらって、いっかいプールへ行ってみたい」けんいち一家はれいぞうこを連れてプールへ。けんいちをいじめっこから救ってくれたり、お母ちゃんのピキニを借りて日焼けしたり。れいぞうこのなつやすみの結末は？</p> <p>(J913-ムラ-8923927)</p>
<p>「ぼくの町に電車がきた」</p> <p>鈴木まもる文・絵 岩崎書店 2006.7 【小低～】</p>	<p>伊豆半島は山やがけが多く、ずっと電車が走ることができなかった。1960年にはじまった伊東から下田までの線路をしく工事は今と違い多くが手作業でおこなわれた。がけが多く、海岸にしか線路がひけないところがたくさんあり、台風や大波にそなえた工事がされた。谷が多く橋が68もある。鉄橋をつくるようす、トンネルをほるようすなどが、今の風景とくらべて説明してあり、わかりやすい一冊</p> <p>(J516-スズ-8967467)</p>
<p>「リンコの逆転ホームラン」</p> <p>ヨシコ・ウチダ作 いせひでこ絵 ひくまの出版 2006.6 【小中～】</p>	<p>リンコはカリフォルニアに住む日系2世13歳。夏休み、ママに頼まれて、しづしづハタおばさんの家に手伝いに行くことになる。おばさんは夫を亡くし二人の息子を育てている。最初は嫌がっていたリンコも、事故や事件が起こる中ハタおばさんのことをとても好きになっていく。最低だと思った夏休みが最高の夏休みになった。カリフォルニア児童文学最高賞「夢は翼をつけて」の続編。</p> <p>(J933-ウチ-8937717)</p>

<p style="text-align: center;">「鯨を捕る」</p> <p style="text-align: center;">市原基写真・文 偕成社 2006.7</p> <p style="text-align: center;">【小中～】</p>	<p>捕鯨船に同乗した写真家による記録。商業捕鯨が中止されるなか、捕鯨の現場を見て真実を知りたいという思いからこの写真を撮った。捕鯨に真剣に取り組む人々の様子が迫力ある写真で迫ってくる。骨まで無駄なく利用される鯨の姿も興味深い。巻末に捕鯨の歴史や現状、鯨料理の解説もある。</p> <p style="text-align: right;">(J664-仔-8955706)</p>
<p style="text-align: center;">「木の上の家」</p> <p style="text-align: center;">ピアンカ・ピッツォルノ作 クエンティン・ブレイク絵 汐文社 2006.5 【小中～小高】</p>	<p>仲良しの友達アグライア（8歳）とピアンカ（大人）は野原の真ん中にそびえるカシの木の上に家を作ってネコのプルニルデと暮らし始める。接木をした枝に世界中の果物になるすてきな家。でも、変人のおじいさんベッカリスさんが隣人だったとは！その上このとりが運んできたあかちゃんやらへんてこな動物たちが加わって大騒ぎ。挿絵も楽しい。イタリア・アンデルセン賞受賞作。</p> <p style="text-align: right;">(J973-七ツ-8911784)</p>